

農総試園芸研究部
野菜研究室ダイアリー

2026 年 7 月



○最近の仕事の様子をご紹介します。



ナスの鉢上げ作業の様子です。発芽した小さな苗をポットに植えます。



イチゴ育種サポーター会議の方々にお越しいただき、2025 年度産栽培試験の状況について最終の検討を行いました。イチゴの出荷最盛期に集まっていたき、感謝の気持ちでいっぱいです。



ナスを植える畑を準備しています。重労働であるだけでなく、天候に左右されるので、とても気をもむ仕事です。



露地の畑にナスを定植しました。あえて厳しい夏越えの栽培を行い、育ち具合などを調査します。



こちらは、ハウスの中にキュウリの苗を植えています。



自主勉強会で、農業機械の適切な取扱いについて学びました。安全に作業し、機械を長持ちさせるためのポイントを知ることができました。

○まもなく酷暑の季節。少々思いやられます。



5月には日中の最高気温が 30℃を超える日が何度もあり、春を押しつけて一気に夏がやってきたようでした。栽培施設の中は、ちょっと油断すると 40℃を上回ります。温室効果、恐るべしです。

子どもの頃は夏を心待ちにし、学校が休みになると言い知れぬ開放感を味わったものですが、農業関係者にとって夏越えは本当に命がけです。無事に、つつがなく過ごしたいです。